

入選作品

家族川柳

平成24年度

小学生の部

お母さん
ずーっとずーっと
いっしょだよ

これから
元気でいてよ
お母さん

ぼくの足
母さんよりも
大きいよ

ナンバー1
娘がつくる
焼きそばは

孫の声
元氣くすりを
今日もまつ

お父さん
しごとおそくて
つまらない

母の日に、
手紙一つで
ごめんなさい

「ただいま」と
声が聞こえて
一安心

父さんの
手を借り作った
貯金箱

リビングを
笑顔で照らす
お母さん

わが娘
返事は良いが
動かない

同じこと
何度も何度も
言わないで

父さんの
顔を見るたび
ほっとする

お母さん
ためてくれ
お金も夢も

お年頃？
最近 何だか
無愛想

かたもむと
いつもよろこぶ
お母さん

弟の
ミルクをのますの
上手だね

キレル子は
卒業しよう
二期期は

笑えない
お父さんの
そのジョーク

おかわりを
ついついしちゃう
母の味

迷っても
探し続ける
未来星

帰宅後に
私を見つけ
うれしそう

テレビ好き
そんなに見たい？
これでもか!!

甲子園
兄貴の夢を
受けつぐぜ

ごめんなさい
いつも素直に
なれなくて

笑い声
たえないわが家
あったかい

反抗期
おわりたくても
おわらない

暑いなか
農作業を
ありがと

お母さん
みたいになりたい
なれるかな

今年も？
夏休み終わりの
青い顔

世界一
明るい家族
それ、わが家

トンネルも
終りがあるよ
必ずね

あなたへの
親の想いも
熱いのよ

暑いなか
頑張る息子
見守り隊

お父さん
熱中症には
気をつけて

腹へった
ごはんの代わりに
アイス食お

お母さん
もうちよい喋らせて
あと五分

このごろね
オリンピックで
寝不足だ

ふと見ると
似すぎて怖い
わが娘

夏からは
受験に向けて
キックオフ

高校生の部

夏休み
宿題少しは
手伝って

つかれたよ
やることいっぱい
もうげんかい

部活ほど
がんばってくれ
家の事

腹筋が
縦割れ息子に
嫉妬する

かたもむと
いつもよろこぶ
お母さん

弟の
ミルクをのますの
上手だね

キレル子は
卒業しよう
二期期は

笑えない
お父さんの
そのジョーク

おかわりを
ついついしちゃう
母の味

迷っても
探し続ける
未来星

帰宅後に
私を見つけ
うれしそう

テレビ好き
そんなに見たい？
これでもか!!

甲子園
兄貴の夢を
受けつぐぜ

ごめんなさい
いつも素直に
なれなくて

笑い声
たえないわが家
あったかい

反抗期
おわりたくても
おわらない

暑いなか
農作業を
ありがと

お母さん
みたいになりたい
なれるかな

今年も？
夏休み終わりの
青い顔

世界一
明るい家族
それ、わが家

トンネルも
終りがあるよ
必ずね

あなたへの
親の想いも
熱いのよ

暑いなか
頑張る息子
見守り隊

お父さん
熱中症には
気をつけて

腹へった
ごはんの代わりに
アイス食お

お母さん
もうちよい喋らせて
あと五分

このごろね
オリンピックで
寝不足だ

ふと見ると
似すぎて怖い
わが娘

夏からは
受験に向けて
キックオフ

お母さん
ずーっとずーっと
いっしょだよ

これから
元気でいてよ
お母さん

ぼくの足
母さんよりも
大きいよ

ナンバー1
娘がつくる
焼きそばは

孫の声
元氣くすりを
今日もまつ



平成24年度 家族川柳 準入選作品

小学生の部

- ・かなえてよ 母さんの夢 こうしえん 母 → かくごして まっくろせんたく ユニフォーム 小学3年 男
- ・お姉ちゃん 目薬さしてね ありがとう 小学3年 男 → いいってことよ 私は小さな おかあさん 姉
- ・ゆうごはん みんなで食べて たのしいな 小学3年 女 → はなしすぎ あつというまに ごちそうさん 母
- ・お母さん きらいなおかず 出さないで 小学3年 男 → 食べてみて 愛情スパイス 入れてみた 母
- ・おこるのも そろそろやめて お母さん 小学3年 男 → お断り 魔法の言葉と 思いなさい 母
- ・ママ心 察して手伝う えらい娘だ 母 → 疲れても ママには笑顔で いてほしい 小学3年 女
- ・ぼくのへや クーラーほしい お母さん 小学3年 男 → がまんして 節電ですよ エコのため 母
- ・父さんと いっしょに登山 うれしいな 小学4年 男 → すばらしい 景色を今日は 二人じめ 父
- ・ひとりべや ほしいなはやく おかあさん 小学4年 男 → そうきたか どれだけ本気が 見せてみる 母
- ・ばあちゃんつば 宿題わからん 教えてよ 小学4年 女 → ばあちゃんもね そろそろ無理よ 引退よ 祖母
- ・お父さん 長生きしてよ ずうっとね 小学4年 男 → 大丈夫 人間ドッグ 行ってます。 父
- ・母さん食堂 今日開店 待ち遠しい 小学4年 男 → 「おいしかったあ!!」 その一言が聞きたくて 開店準備に大あわて 母
- ・五か月で どんどんふえた 野球道具 小学4年 男 → がんばれば まだまだ増える 父の期待 父
- ・川の字で ずっと寝たいな いつまでも 母 → 大の字で ゆったりねたいな 本当はね 小学4年 女
- ・お父さん かたもみトントン 気持ちいい? 小学5年 男 → 心まで ほくれる息子の 肩たたき 父
- ・毎日ね あいじょうごはん ありがとう 小学5年 女 → もりもりと たべるすがたに やる気です 母
- ・似すぎてる 顔と同じだけ 勝気さも 母 → おかげ様 母に似れば こわいものなし 小学5年 女
- ・「あ一分からん」 宿題教えて お母さん 小学5年 女 → 「何だこれ?」 母も分からん 父に聞け 母
- ・母さんの ごはんはいつも 美味しいな 小学5年 男 → ありがとう おふくろの味は まかせてね。 母
- ・あついなか いつもおうえん ありがとう 小学5年 女 → 応援に 夢中で暑さ 忘れてる 母
- ・永遠に 私はあなたの 応援団。 母 → ありがとう そばにいてくれて ほっとする 小学5年 女
- ・母さんと オリンピックで 大はしゃぎ 小学6年 女 → 真夜中に ガッツポーズで 盛り上がる 母
- ・平泳ぎ 記録会で 金メダル 小学6年 男 → おめでとう あなたの努力 知ってます 母
- ・暑くても いつも応援 ありがとう 小学6年 男 → 日差しより お前のプレーに 熱くなる 父
- ・しあわせだ 弟たちと 遊ぶのが 小学6年 男 → 幸せよ 遊ぶ君たち 見てる時 母
- ・お母さん めいわくかけて ごめんなさい 小学6年 女 → 迷惑は 親が成長 できること 母
- ・いつの間に 言えなくなった ありがとう 小学6年 男 → ありがとう 素敵な言葉 伝えてね 母
- ・いつまでも 変わらぬせなか 追いかける 小学6年 男 → いつの日か こえてみせるよ 我が息子 父

中学生の部

- ・ばあちゃんの 作る野菜は 宇宙一 中学1年 女 → 誰よりも 孫の笑顔は 羽中一 祖母
- ・お父さん たまにはごはん つくってね 中学1年 女 → できるかも 君の手伝い あったなら 父
- ・お兄ちゃん 後ろ姿が お父さん 母 → お母さん 首巻くタオル おばさんだ 中学1年 男
- ・朝ごはん 目玉焼きの日 多すぎる 中学1年 女 → 毎日の 目玉商品 たいへんよ 母
- ・お母さん あせふきシート 買ってきて 中学1年 男 → 汗臭い 色気はいらぬ 柔道部 母
- ・アイス食べ 体を冷やして 節電だ 中学2年 男 → アイス食べ メタボが心配 おかあさん 母
- ・やる気です 君のスイッチ どこにある? 母 → 充電中 僕のスイッチ まだつかない 中学2年 男
- ・疲れても 「お帰りの言葉 じんとかる 中学2年 女 → 無事帰宅 「ただいま」の声 ほっとする 母
- ・いつまでも 母の身長 こせないな 中学2年 男 → 楽しみに まだかまだかと 待ってるね 母
- ・早くして あなたのやる気 スイッチオン 母 → すみません ぼくでも知らない スイッチの場所 中学2年 男
- ・受験生 分からない問題 父に聞け 母 → 親子とも お父さん頼りに しているよ 中学3年 女
- ・やりすぎは 体によくはない テスト前 中学3年 男 → 見てみたい 勉強しすぎて 寝込むとこ 母
- ・辛くても なりたい自分に 手をのばす 中学3年 女 → 挑む君 自分の力 信じてね 母
- ・その笑顔 父と母の エネルギー 母 → この笑顔 家族みんなに もらったよ 中学3年 女
- ・顔見たら 素直に言えない ありがとう 中学3年 男 → 横顔に 書いてあるよ ありがとう 母



高校生の部

- ・おかえりの 母の返事で 疲れとぶ 高校1年 女 → ただいまの あなたの声で 今日わかる 母
- ・うるさいよ イライラするから だまって 高校1年 男 → わかってね うるさく言うのも 愛情と 母
- ・言いにくい 親の顔見て ごめんなさい 高校1年 女 → わかってる でもその言葉を ききたいの 母
- ・お小遣い 急に上がった ありがとう 高校1年 女 → 良かったね 代わりに減った 父のぶん 父
- ・おかあさん いつもずばらで ごめんなさい 高校1年 女 → いいんだよ ふだんのがんばり してるから 母
- ・気がつけば 数年後には 社会人 高校2年 男 → いつの日か 夏の冷酒 酌み交わす 父
- ・これからも おいしいご飯 作ってね 高校2年 男 → まかしとけ それでもたまに ファミレスね 母
- ・今、言った さっきも言った 同じ事 高校4年 男 → うんざりと 思いながらも 付き合っ 母



羽咋市教育委員会と羽咋市家庭教育推進協議会、羽咋市少年育成センターでは、家庭での豊かな会話と子どもの健やかな成長を願い、「家族川柳」と題し、「子の句（初句）」とそれに返事を返す「親の句（返句）」を一組とする川柳を募集しました。川柳は、5・7・5の17文字の短い言葉で表現します。俳句と違い、季語などを入れる制約もありません。子どもたちを取り巻く全てのことを対象に、日常使っている言葉で素直に表現することで、自分の気持ちを伝えたり、お互いの気持ちを理解したり、家族のふれあいを深める目的で実施しました。

これは、たくさん応募作品の中から入選作品・準入選作品をまとめたものです。どれもユーモアのある心温まる作品ばかりです。ぜひ一読ください。

【応募人数】小学生 685人、中学生 498人、高校生 287人（計）1,470人

【入選人数】各学年 5人（高校生については、2~4年生の合同）（計）45人

【準入選人数】各学年 3~7人（高校生については、2~4年生の合同）（計）51人



発行：羽咋市教育委員会
羽咋市家庭教育推進協議会
羽咋市少年育成センター